杉並のボランティア情報紙

ボラン・て 5月

2022

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

～出会い・つながり・発見！～

－CROSS　TALK（クロストーク）－

今年度の特集（隔月奇数月）は、2つの人・活動・団体などが出会い、つながりをつくることで新たな発見が生まれる機会をつくりたい、そんな想いでクロストーク（対談）を企画しました。
第1回目は地域活動への参加と協働によるまちづくりを推進している団体同士の対談です。

【特集】 すぎなみ協働プラザ　朝枝（あさえだ）　晴美（はるみ）　さん（写真左）

杉並ボランティアセンター　竹嶋（たけしま）　美歩（みほ）

3 面・・・センターからのお知らせ

裏面・・・令和4年度地域福祉活動費助成金　団体決定

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

お問合せは　杉並ボランティアセンター　TEL：5347-3939 ／ FAX：5347-2063 ／メール：info@borasen.jp

【特集企画】
～出会い・つながり・発見！～
－CROSS　TALK（クロストーク）－

↑協働プラザ交流コーナー

↑ボラセン交流スペース

「**すぎなみ協働プラザ**（以下「協働プラザ」）」は、地域の課題を解決するための交流拠点・杉並区のNPO支援を行っている窓口です。「**杉並ボランティアセンター**（以下「ボラセン」）」は杉並区社会福祉協議会にあり、ボランティア活動の推進等を行っています。今回は、協働プラザの運営責任者・朝枝晴美さんと杉並ボランティアセンター所長・竹嶋美歩とのクロストークです。

情報紙「ボラン・て」では今年度の企画として、地域活動団体や人同士のクロストークをお届けします。①話している団体・人同士が新しい発見や気づきがある②読者の方々が地域活動をするためのヒントとしていただく、そのような企画になることを願っています。

どんな活動をしていますか？

朝枝：杉並区を中心とした活動団体の支援、具体的には活動をしていく上で必要なスキルや情報をお届けしています。大きな団体の方は自分でわかっていらっしゃるので、どちらかといえば任意団体、これから始めてみようという方、ずっと活動しているが人数が増えない団体などの相談が多いです。また、区の委託事業になるので町会やケア24といった行政が関わっている団体の支援も少しですが行っています。

竹嶋：ボラセンは団体の支援もしていますが、ボランティアをしたい人としてほしい人・施設・団体とをつなげる、コーディネートをしています。長く活動している方もいますが、何かしたいとは思っているけれども何をしたらよいかわからない方もいます。そんな方には一緒に考え、活動を見つけていきます。話していくうちに違うニーズを発見したり、ということもあります。

朝枝：今後、職員にはコーディネート力の必要性を強く感じています。プレゼンテーション（提案）・ファシリテーション（舵取り）・コーディネート（調整）の力は重要です。

竹嶋：決まったものに当てはめるだけではないところが難しさでもあり、面白さでもあります。

朝枝：何をしたらよいかわからない人に特定の団体を紹介する、だけではないですよね。そこは協働プラザもボラセンも同じです。だからもっと職員がいろいろなことを広く知っていないとダメだと思っています。当たり前のことだけどそのことに気がつけてよかったです。

それぞれの特徴、強み、役割を教えてください

朝枝：協働プラザは団体への支援に力を入れています。団体と団体、団体と利用者、団体と行政などを、どうつなぐのか考えながら活動しています。ボラセンは社会福祉協議会が運営しているので、ずっと続いてきているところが強みですよね。協働プラザも様々なNPO法人が運営していた時期もあり、何をもって「協働」の活動としていくのか、確定しているわけではない。でもその分、自由にその時々で動ける強みもあります。例えば、コロナ禍ではすぐにオンラインに切り替えICT（デジタル技術を活用してコミュニケーションを行うこと）支援の講座も多く提供ができました。あとは、今、クラウドファンディングをやりたい人の相談が多いです。でも、寄付を募る際に団体の理念を整理しないと難しいという話をしたりしています。

竹嶋：世の中のICT化や一歩先に行くことを紹介してくれるのも、ボラセンより協働プラザの方が上手いかもしれませんね。ボラセンは幅広い方からのボランティア相談をお受けしています。福祉的な活動相談が多いです。特に夏休み前は学生さんからの相談も多いですね。区内の福祉施設や団体とのネットワークが強みだと思います。

団体を見て感じていることはありますか？

朝枝：団体の人材については、高齢化が進んで世代交代の問題がありますよね。連絡をとったら団体が解散していたこともあります。

竹嶋：高齢化だけでなく、コロナ禍の影響で活動ができなくなりモチベーションが低下して、解散までしなくても停滞中という相談も最近多いです。

朝枝：コロナで一気にICT化と言われても踏み出せない団体もあります。ICTだけではなくその前に団体の課題の整理が必要なこともあるので団体とは丁寧にお付き合いして、最先端でなくていいからできることがあるといいなと思っています。

竹嶋：やりたい方がいたら、寄り添いたいですよね。ボラセンでは、社会とのつながりのない方、例えばひきこもりの方からの相談も受けています。社会とつながる一歩を踏み出す場として、ボランティア活動を紹介しています。それはきっと社会福祉協議会のボラセンだからこそなので、大切にしていきたいです。

読者へのメッセージをお願いします！

朝枝：知り合いが増えて楽しいし、思いがけない自分に気づけるのが地域活動の面白さです。楽しく地域を見られる方が増えるといいな。

竹嶋：大人から子どもまであらゆる方に対応した講座、を企画していますのでボラセンにお気軽にお越しください。

すぎなみ協働プラザ

住所　杉並区阿佐谷南3-2-19　産業商工会館 内
開館時間　午前10時～午後6時
休館日　日曜、第1・3・5土曜、祝日、振替休日、年末年始12/28～1/4
TEL：03-5335-9540　FAX：03-5335-9541　e- mail： info@nposupport.jp

開催します！

「チャレンジ！ボランティア」を開催します

「チャレンジ！ボランティア」やってみませんか？福祉学習サポーター

福祉学習を学校等で行う際、ボランティアセンター職員と共に出向き、サポートしていただける方を養成します。
車いす操作や、高齢者模擬体験グッズの着用等を体験していただきます。
講話と実技の2回連続講座になります。2回とも参加できる方を募集いたします。

日時 令和4年6月17日（金）9:30～11:30
令和4年6月22日（水）9:30～12:30
内容：1日目福祉学習サポーターについて
2日目模擬体験グッズ等の使用方法

会場 ウェルファーム杉並　3階　第1・2教室（天沼3-19-16）

講師 杉並ボランティアセンター職員ほか

対象 区内在住の方、左記2日間共に参加できる方

定員 15名程度　※申込多数の場合は抽選

申込 杉並ボランティアセンター
TEL：**03-5347-3939**
✉：info@borasen.jp
電話またはe-mail。
志望動機を記入し6/1まで

ご案内

福祉体験用具を貸し出します

**杉並ボランティアセンターでは、各種福祉体験用具の貸し出しを行っています。
学校や企業、団体での福祉体験の教材としてぜひご活用ください。**

◆対　　象：区内在住・在学・在勤の方
◆期　　間：原則として1週間以内
◆手続方法：ご予約の上、来所いただき、借用書にご記入
◆費　　用：無料
◆貸出物品：高齢者模擬体験セット
（フリーサイズ：15セット、キッズ：5セット）
白杖（43本）、アイマスク（40枚）
点字練習器（60個）
点字指導者用ボード（1枚）
体験用車いす（10台）

▲高齢者模擬体験セット

▲点字練習器

▲高齢者模擬体験セット（キッズ用）

▲キッズ用着用イメージ

▲大人用着用イメージ

＼ Hello! ／
登録団体さ～ん　Vol.02

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中！

◆こどもの成長を護（まも）る杉並ネットワーク

・活動内容：子育ち・子育て支援、対話式絵本の読み語りと普及活動、絵本コンサート、絵本講師の養成、出張講座などを行っています。
・活動場所：区内および近郊
・活動日時：活動ごとに個別に調整

絵本は心の食事です

お問合せ

杉並ボランティアセンター
〒167-0032 天沼3-19-16
ウェルファーム杉並4階
TEL：03-5347-3939　FAX：03-5347-2063
H P：http://borasen.jp/

ぼらせん．jp　検索

「募金」が「地域」をよくするしくみ

杉並区社会福祉協議会
地域福祉活動費
助成金事業

令和4年度
地域福祉活動費助成金
団体が決定しました

杉並ボランティアセンターでは**「地域福祉活動費助成金」**を通して、地域活動を資金面でも応援しています。助成金は、**地域の方からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金**が原資になっています。
杉並で集まった募金で杉並の地域福祉活動を元気にしていきます。

令和4年度の決定団体は**チャレンジ応援助成7団体、定例活動活性化助成10団体、全体で17団体**となりました。
今後、団体の活動の様子もボランティアセンターの情報紙「ボラン・て」やホームページ「ぼらせん．jp」でお伝えしていきます。

◆助成金は2種類あります。
【チャレンジ応援助成】・・・新規の活動を応援するための助成金
【定例活動活性化助成】・・・既存の活動を活性化するための助成金

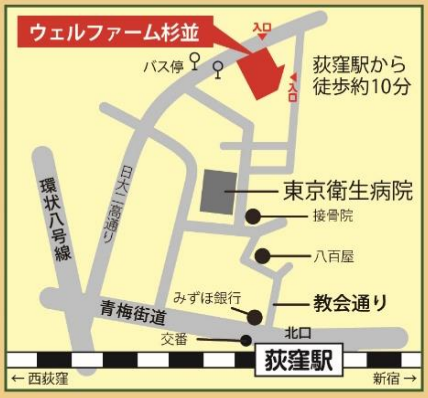
チャレンジ応援助成

①特定非営利活動法人
　障害者就労支援センター
　どんまい福祉工房
②Third place For Teens
　中高生の居場所プロジェクト
③社会福祉法人
　視覚障害者支援総合センター
　就労支援B型　チャレンジ
④特定非営利活動法人　みかんぐみ
⑤みんなで子育て　ぴかふろーる
⑥特定非営利活動法人
　ゆるゆるma～ma
⑦阿佐北三まちサロン運営協議会

定例活動活性化助成

①『上井草　結いの会』
②井草ふるさとネット
③杉並家族会
④認定NPO法人　ももの会
⑤音楽健康さろん
⑥特定非営利活動法人
　こだまの集い
⑦社会福祉法人　聖友ホーム
　『すぎなみ里親プロジェクト』
⑧宮前まちづくりの会
⑨ふらり赤い椅子
⑩まちナカ・コミュニティ西荻みなみ

令和3年度地域福祉活動費助成団体の皆さまに、**「ありがとうシート」**を作成していただきました。
助成金の使いみちや助成団体の活動を広く区民へ周知するとともに、ご寄付者に向けたメッセージをお寄せいただきました。**「ありがとうシート」**は取りまとめをして、今後、当センターのホームページ等でご紹介いたします。



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032　杉並区天沼3-19-16　ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939　FAX: 03-5347-2063
メール: info@borasen.jp　ホームページ: http://borasen.jp

うぇるくん
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日
8:30～17:00
＊祝日・年末年始はお休みです。

情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内JR、地下鉄丸の内線など）・他